

2016年9月30日

企業と雇用システム

第1回

はじめに、講義内容の概要



高田好章

講師の自己紹介 1)

- 和歌山県で生まれる
(湯浅町)
- 小学校時代は、
和歌山・奈良・京都で育ち、
(切目小・五條小・笠置小)
- 中学・高校時代は大阪・堺で暮らす
(浅香山中、登美丘高校)
- 駒澤大学経済学部・大学院で学ぶ



講師の自己紹介 2)

- ・大阪のエアゾール・化粧品製造会社で働いた
（主な工場は和歌山県）
当初、営業：得意先開拓・管理、製造依頼
後に、総務の業務に従事



講師の自己紹介 3)

総務の仕事 1)

会計：入金・出金の実務

経理：お金の出入りの記録

財務：資金管理（借入・出資）

税務：納税、徴収、申告



講師の自己紹介 3)

総務の仕事 2)

人事：採用、昇格、配属、評価

給与：賃金支払実務

労務：健康保険、労働保険、厚生年金

法務：法令、株主、契約

社務：就業規則、組織、会議



講師の自己紹介 3)

その他の仕事

コンピュータ関係:

- ・ソフト作成: 生産管理・売上管理・給与計算
- ・データ管理
- ・サーバー管理

Linux-Fedora-Server



講師の自己紹介 4)

- 大学・大学院時代は、
独占体、特に鉄鋼産業の生産体系を研究
- 働きながら、経済学の勉強を続ける
 - 自分のいる産業の分析から、
労働問題を主に研究する
 - 母校：駒澤大学経済学部で
非常勤講師として4年間
教えたことがある
- 現在は特に派遣労働問題を
探求している



講師の自己紹介 5)

主な研究業績

- ・「新興産業における中小企業と独占
ー日本のエアゾール産業ー」

1986年

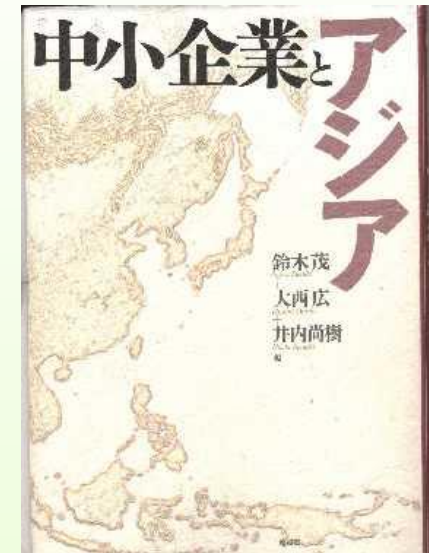
- ・「崩れゆく終身雇用制と
非正規労働者」1994年



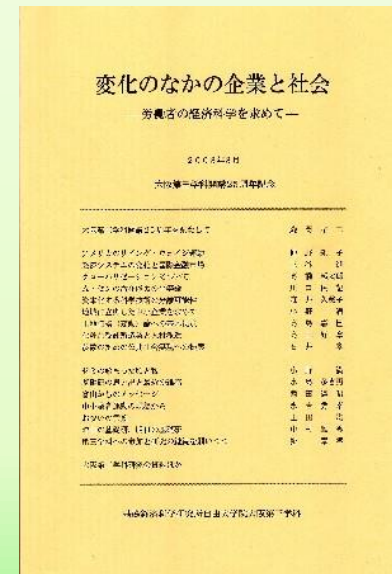
講師の自己紹介 6)

主な研究業績

- ・「中小化学工業の国際化と海外展開 —エアゾール産業を中心に—」1999年



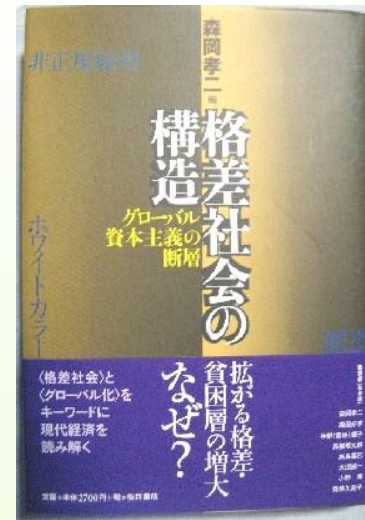
- ・「化粧品受託製造業と人材派遣」2003年



講師の自己紹介 7)

主な研究業績

・「雇用の外部化と製造業における派遣・請負」2007年



・「人材派遣業の膨張・収縮と経営実態—近年の製造派遣を中心に」2012年



※現在、製造派遣(派遣労働)を研究している

授業の概要と方法 1)

- 企業は人で動いています。
- 企業にどんなに素晴らしい設備があったとしても、それを動かす人がいなければ、企業は活動できません。
- 企業は人を雇い入れてはじめて成り立っているのです。



授業の概要と方法 2)



- ・大学生生活を終われば、ほとんどの学生諸君はいずれかの企業に雇われて働くことになります。
- ・その時、どのような職業生活を送るのか、さまざまな面から企業と雇用の問題を共に考えましょう。
- ・それはより良き職業生活を送るために必要な知識です。

授業の概要と方法 3)

講義は

雇用に関する多岐にわたるテーマを
取り扱います。

特に、

日本的雇用慣行

非正規化

働きすぎ

性別分業

の問題が重要なテーマであると考えています。

授業の概要と方法 4)

講義では
様々な文献や資料・新聞記事を用い、
具体的な事例などを
随時紹介するとともに、
時には関連するビデオを取り上げて
皆さんと問題を考えていきます。

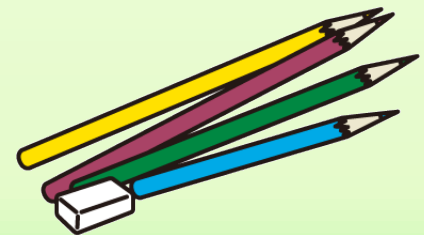
特に講師が企業で働いた経験を交えて話します

到達目標

- 1) 受講生が企業と労働に関する基本的な知見を持つこと
- 2) 雇用に関して現在生じている様々な問題に対する経済学の専門的知識を得ること
- 3) 将来企業に雇用され働く立場になった時に、経済学を習得した者として、当然持つべき見識を備えること
- 4) 自立してそれらの問題に対処できることを目標とします。

アンケートのお願い

- ・講義で取り上げてほしい項目・内容があれば、アンケート用紙に書いてください
 - ・質問事項・疑問点・ご要望があればそれも書いてください
- ※できるだけご要望に応えようと思います



ビデオ

ある企業の仕事風景：

机の上の仕事

製造ラインの仕事

自動化された製造

約13分



次回以降の 各回講義の項目・内容

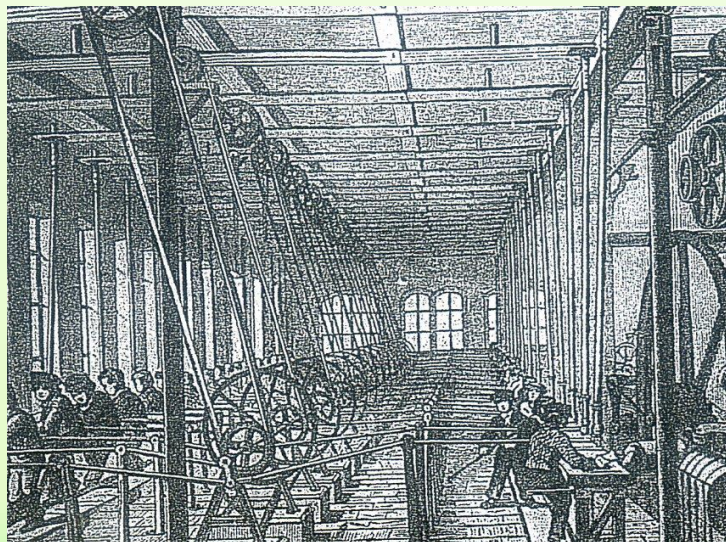
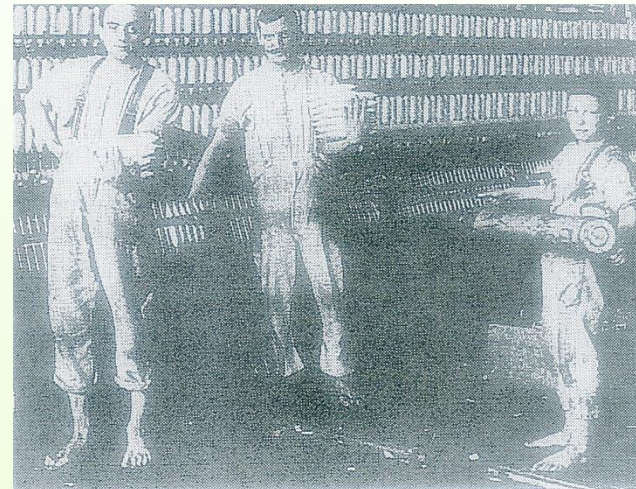
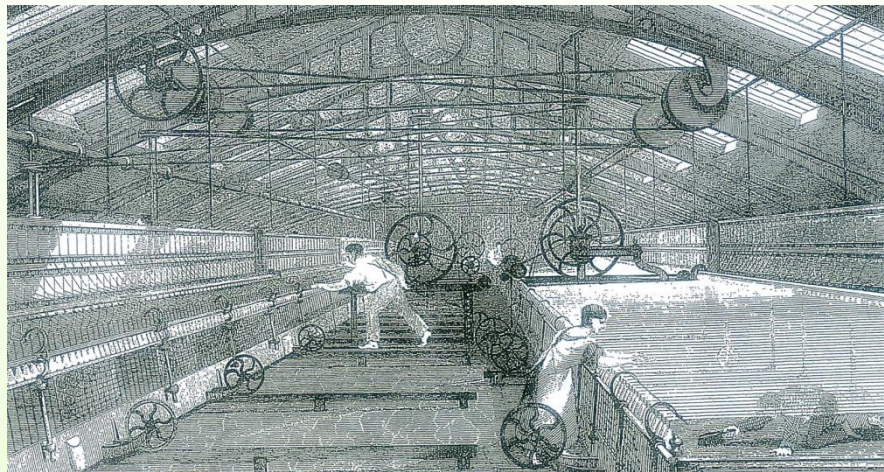


第2回：資本主義への発展と雇用制度 1)

雇用の歴史を考えます。
資本主義以前はどのように働いていたのか、
産業革命以後、資本主義の発展とともに、
働き方がどのように変わってきたのか、
を取り扱います。

各回講義の項目・内容

第2回：資本主義への発展と雇用制度 2)



各回講義の項目・内容



第2回：資本主義への発展と雇用制度 3)

資本主義と雇用

歴史的にみた場合：資本主義への発展：
奴隷労働、農奴と領主、
徒弟制について：養成工・見習制
雇用の歴史：江戸時代の雇用

産業革命と労働

工場法成立と労働運動・雇用

各回講義の項目・内容



第3回：日本的雇用慣行と企業中心社会 1)

日本的雇用慣行について考えます。
日本型企业社会が成り立つとともに、
どのように日本的雇用慣行ができ、
企業中心社会が成立してきたのか
を考えます。

各回講義の項目・内容



第3回：日本的雇用慣行と企業中心社会 2)

②日本の工業ののび



経済産業省しらべ。2010年を100とする指数。

各回講義の項目・内容

第3回：日本的雇用慣行と企業中心社会 3)

日本的雇用慣行について

日本の雇用の歴史：

戦前と戦後の対照、戦後の労働改革

日本型企业社会と企業システム

企業中心社会：男は仕事・女は家庭

終身雇用制・年功賃金・企業別組合

長期雇用、産業別の雇用関係

中小企業の労働者・労働・雇用

外国の雇用システム・労働改革、原発労働



各回講義の項目・内容

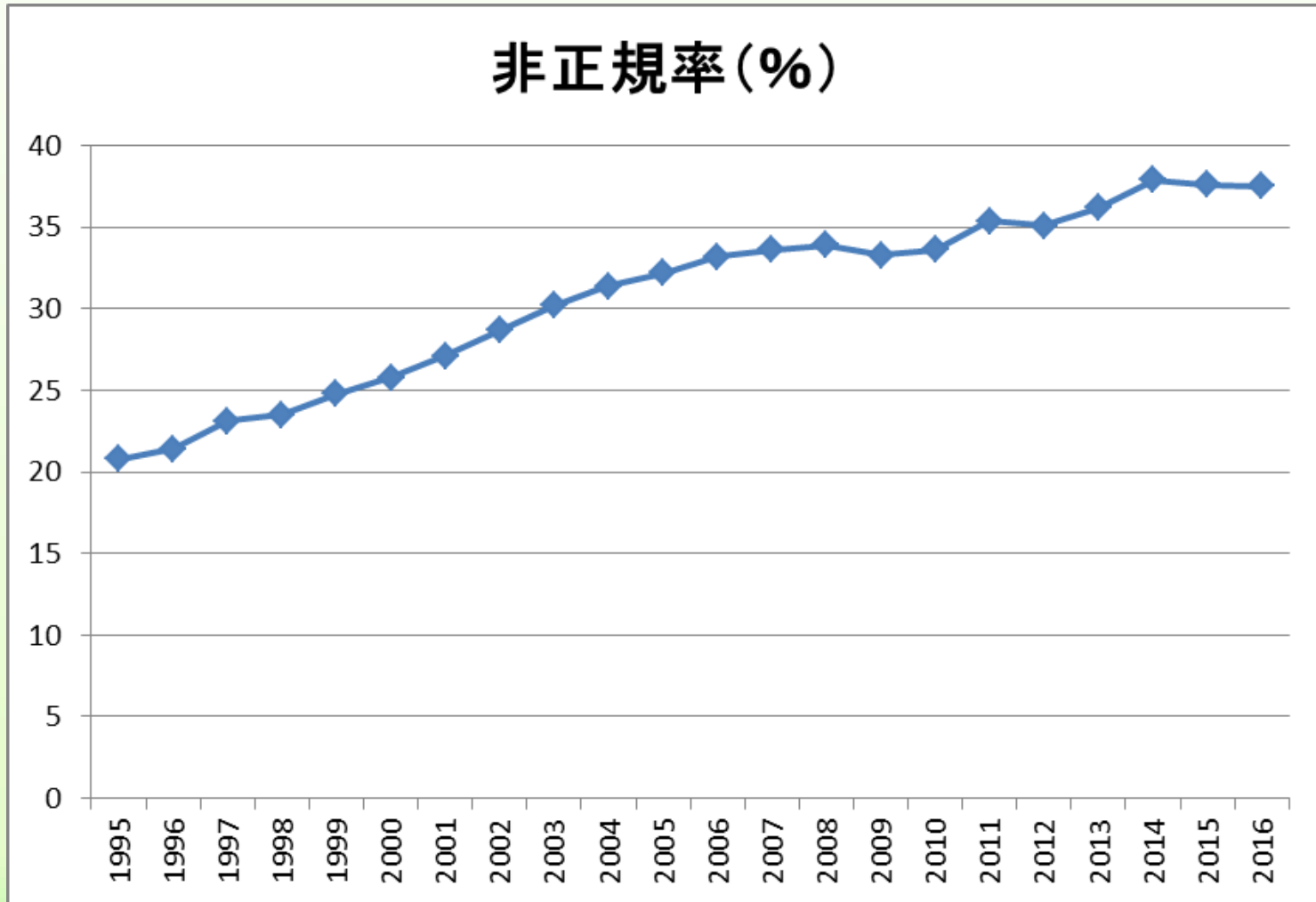
第4回：雇用の多様化と正規・非正規雇用 1)

正規雇用と非正規雇用について考えます。
雇用の多様化が叫ばれている現在、
正社員や契約社員、パート・アルバイト、
さらに派遣労働者、様々な形態で労働者が
働いています。

産業構造の変化とグローバル化が
どのように働く人の雇用に変化をもたらしたのか、
を取り上げます。

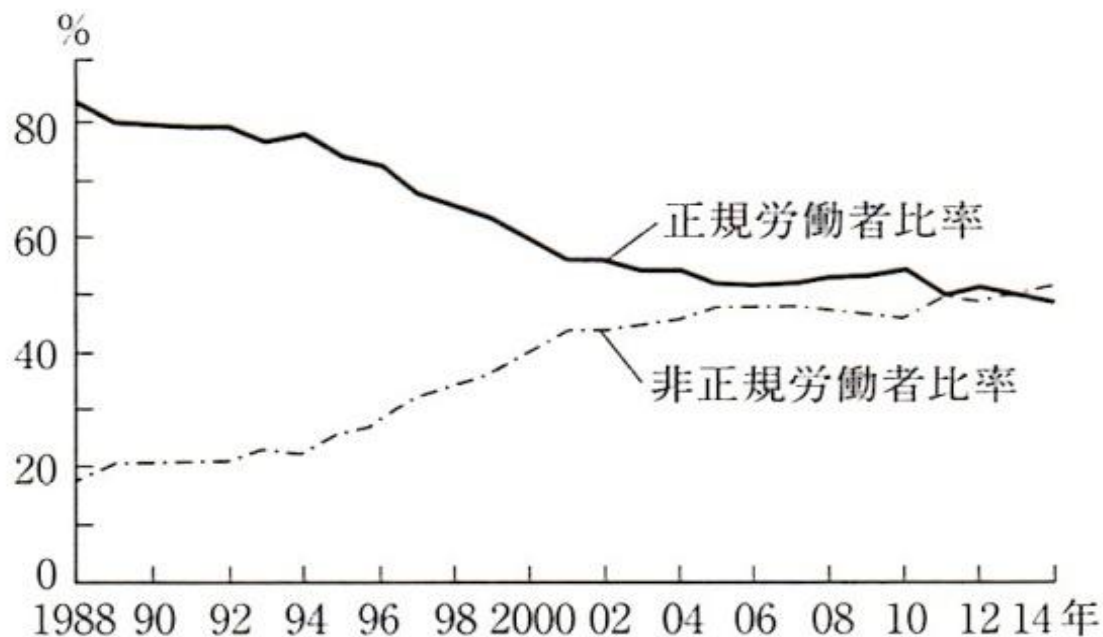
各回講義の項目・内容

第4回：雇用の多様化と正規・非正規雇用 2)



各回講義の項目・内容

第4回：雇用の多様化と正規・非正規雇用 3)



(出所) 2001年以前は総務省「労働力調査(特別調査)」2月平均, 2002年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」1~3月平均.

図 5-3 15~24 歳の若年労働者の非正規率の推移

各回講義の項目・内容

第4回：雇用の多様化と正規・非正規雇用 4)

正規雇用と非正規雇用について

さまざまな雇用制度

働き方・雇い方の多様化：正社員・パート・派遣・

アルバイト、正社員制度改革、有期労働契約

不安定就業について、ワーキングプア

労働の規制緩和と雇用の流動化政策

産業構造の変化と雇用

グローバル化と雇用の変化：国際分業と雇用



各回講義の項目・内容

第5回：人材派遣制度と派遣労働者 1)

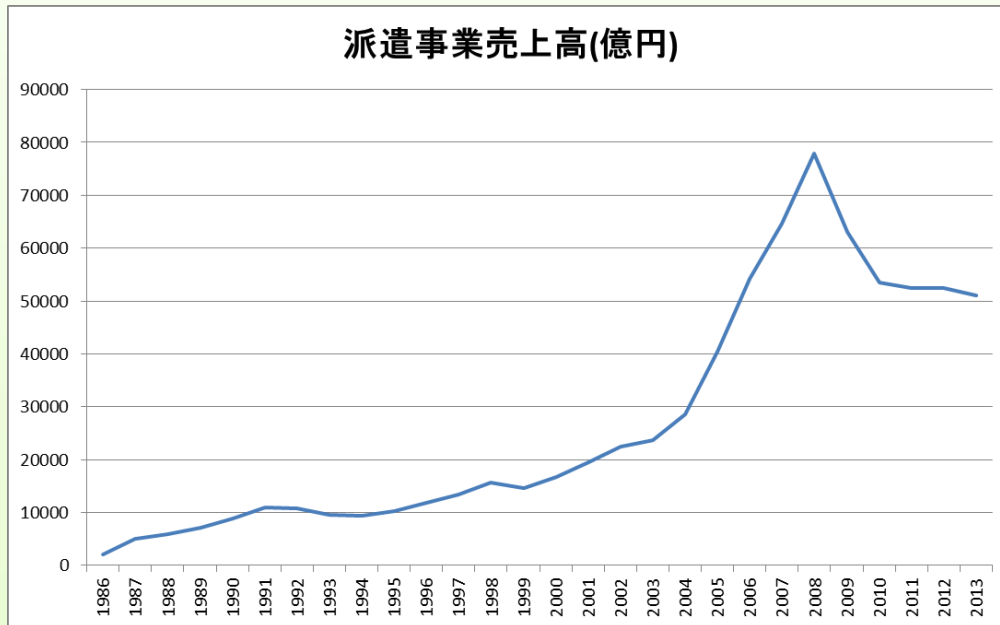


非正規雇用の中でも最も不安定就業といわれるのが派遣労働者です。

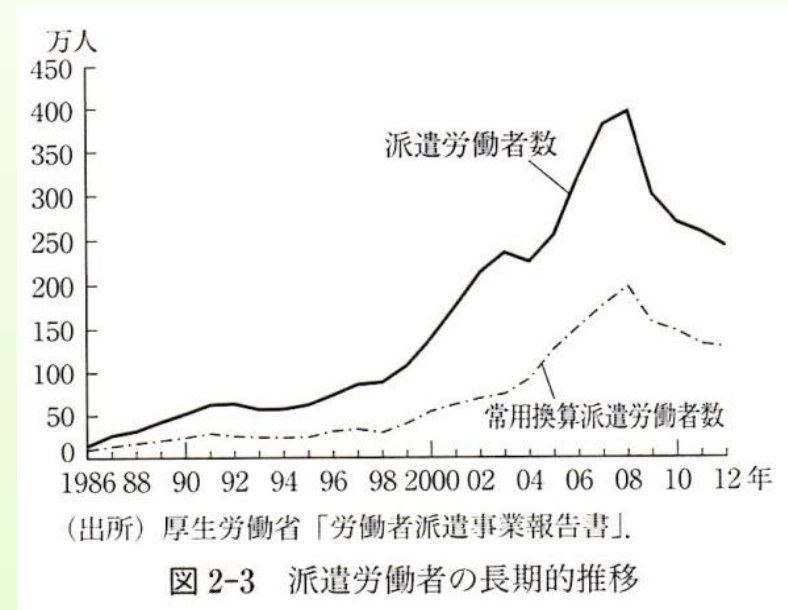
人材派遣がどのような背景で合法化されたのか、雇用と人事管理にどのような影響をもたらしたのか、派遣労働者の働く現場や待遇、人材派遣会社の実態、構内業務請負制と人材派遣の関係などを取り上げます。

各回講義の項目・内容

第5回：人材派遣制度と派遣労働者 2)



厚生労働省・労働者派遣事業集計より



『雇用身分社会』p80より

各回講義の項目・内容

第5回：人材派遣制度と派遣労働者 3)



派遣労働と業務請負労働、人材派遣制度について
戦前の労働者供給業：ギャングシステム・紡績工場、
組頭・親方制とピンはね、
バッテイ・システム（請負制）、「炭鋳札（券）」
人材派遣の合法化の過程、人材派遣会社
派遣の実態、派遣労働者の働き方、日雇い派遣
派遣切り、事務派遣と製造派遣
「直接雇用」と「間接雇用」、雇用とは何か
受託事業、下請制度

各回講義の項目・内容



第6回：賃金制度と仕事の評価 1)

雇われて働くということの一番の目的は、労働の対価としての賃金を得ることであるともいえます。

賃金はどのように決まるのか、
どのように払われるのか、
その場合の仕事の評価はどのようになされるのか、を考えます。

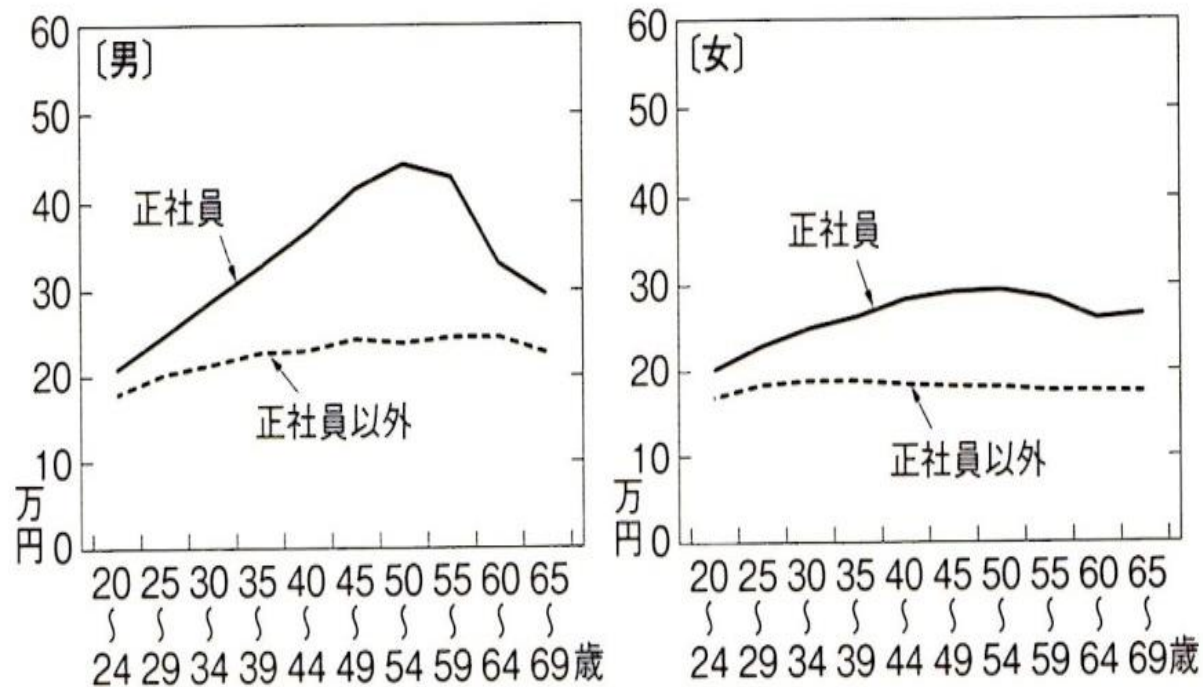
また職種等級による賃金査定と
様々な手当・残業手当、
さらに最低賃金制度なども取り上げます。

各回講義の項目・内容

第6回：賃金制度と仕事の評価 2)



図 5-17 年齢階級別の雇用形態別賃金 (2015年6月分)



厚生労働省「賃金構造基本統計調査」(2015年)による。調査産業計の所定内給与額。パートタイム労働者を含まない一般労働者のみ。

各回講義の項目・内容

第6回：賃金制度と仕事の評価 3)



仕事の評価と賃金、賃金システムを考える

賃金形態：時間賃金・個数賃金

仕事の評価・人事評価・仕事の評価と昇進制度

年功賃金制度、能力主義と評価

職種等級制と賃金表

さまざまな手当、時間外労働と残業手当、春闘

と賃金交渉、現金払いと給与振込・現物給付

最賃（最低賃金制度）について（詳細は13回で）

各回講義の項目・内容

第7回：労働時間と働きすぎについて考える 1)

企業に雇用されて働くということは、労働者が自らの生活時間の一部を、企業のために働く時間として売り渡すということの意味しています。

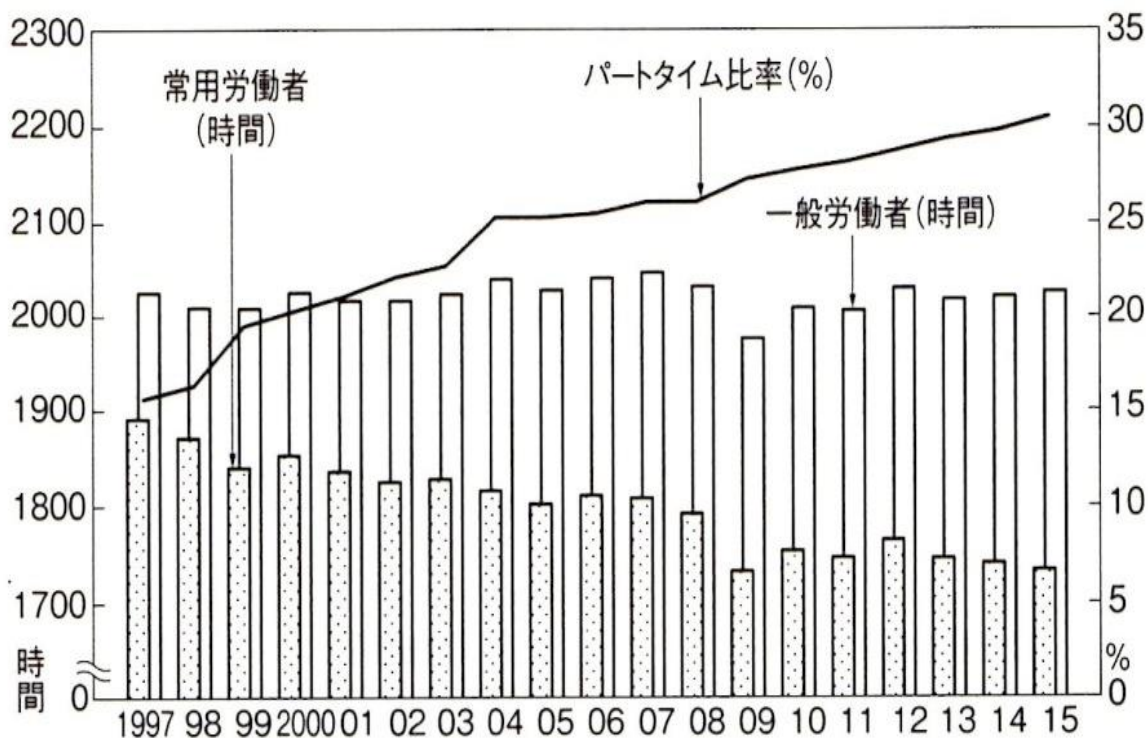
しかしながら、今の日本の多くの労働者は、長時間労働の元に置かれていることは周知の事実です。サービス残業・ブラック企業・ブラックバイト・過労死に焦点を当て、どうすれば自由な時間を取り戻すことができるかを考えます。



各回講義の項目・内容

第7回：労働時間と働きすぎについて考える 2)

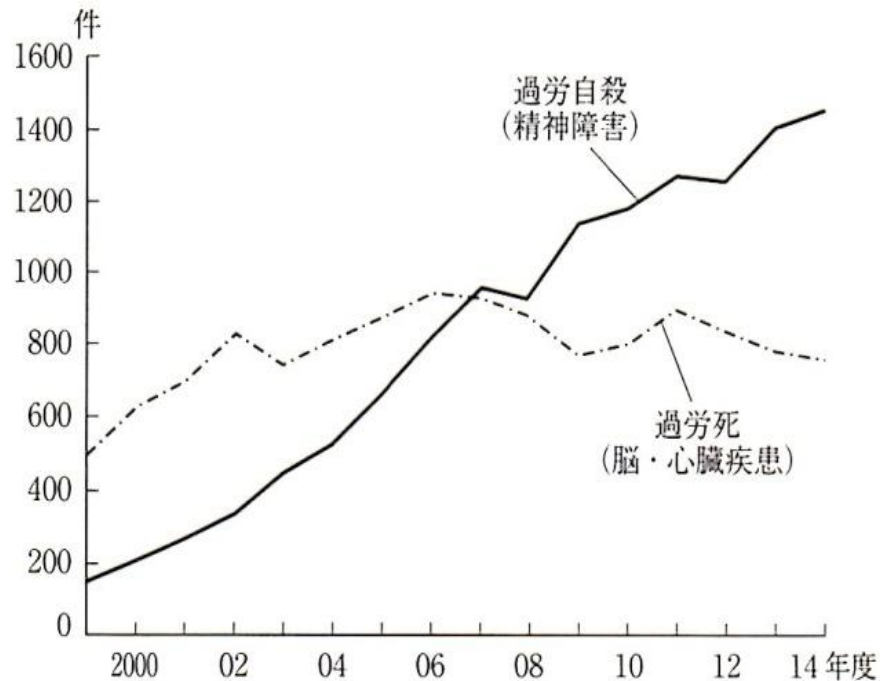
図 5-12 年間労働時間の推移（事業所規模5人以上）



厚生労働省「毎月勤労統計調査」による。常用労働者はパートタイム労働者を含む。一般労働者はフルタイムで働く労働者。調査産業計。表5-9, 10の脚注参照。

各回講義の項目・内容

第7回：労働時間と働きすぎについて考える 3)



(注) 死亡事案以外を含む。

(出所) 厚生労働省「過労死等の労災補償状況」。タイトルは年度によって変更がある。

図 4-4 過労死・過労自殺に係わる労災請求件数の推移

各回講義の項目・内容

第7回：労働時間と働きすぎについて考える 4)

■「さと」などで違法残業容疑

「和食さと」など飲食店427店舗をチェーン展開する「サトレストランシステムズ」(大阪市中央区、重里欣孝社長)が系列店で違法な長時間残業をさせ、残業分の割増賃金を支払わなかったとして大阪労働局は29日、同社と店長ら5人を労働基準法違反(長時間労働)などの疑いで大阪地検に書類送検し、発表した。労働局によると、大阪府内にある「和食さと」「すし半」「さん天」の計4店舗などの店長ら5人は2015年1～11月、社員やアルバイト計7人を、労使協定で決めた残業時間(月40時間)を超えて残業させた疑いがある。残業は月最大で49～111時間だった。うち2人の店長は従業員3人に、残業分の割増賃金各約3万4千～22万5千円を支払わなかった疑いがある。14～15年度にのべ653人分、約4億6千万円分の未払いが発覚し、今年5月にはほぼ全額を支払ったという。

朝日新聞 2016-09-30



各回講義の項目・内容

第7回：労働時間と働きすぎについて考える 5)

法定労働時間

長時間営業、長時間労働があたりまえ
管理職こそ早帰り

残業規制と36協定、働きすぎについて
生活時間と労働時間・家事・休息

サービス残業、ブラック企業・ブラックバイト
ブラック企業の求人NO

過重労働、過労死・過労自殺

過労死裁判、判決・ワタミの和解



各回講義の項目・内容

第8回：就職から退職まで 1)



企業に雇用されて働き、やがては退職する、
という流れの中で、

労働者は日々仕事をしています。

その長い時間の流れの最初が求職であり、
与えられた職場と課せられた仕事をこなし、

幸運にも昇進の機会が与えられ、

いずれは定年を迎え退職することになります。

途中で自ら進んで退職を選択することもあります。

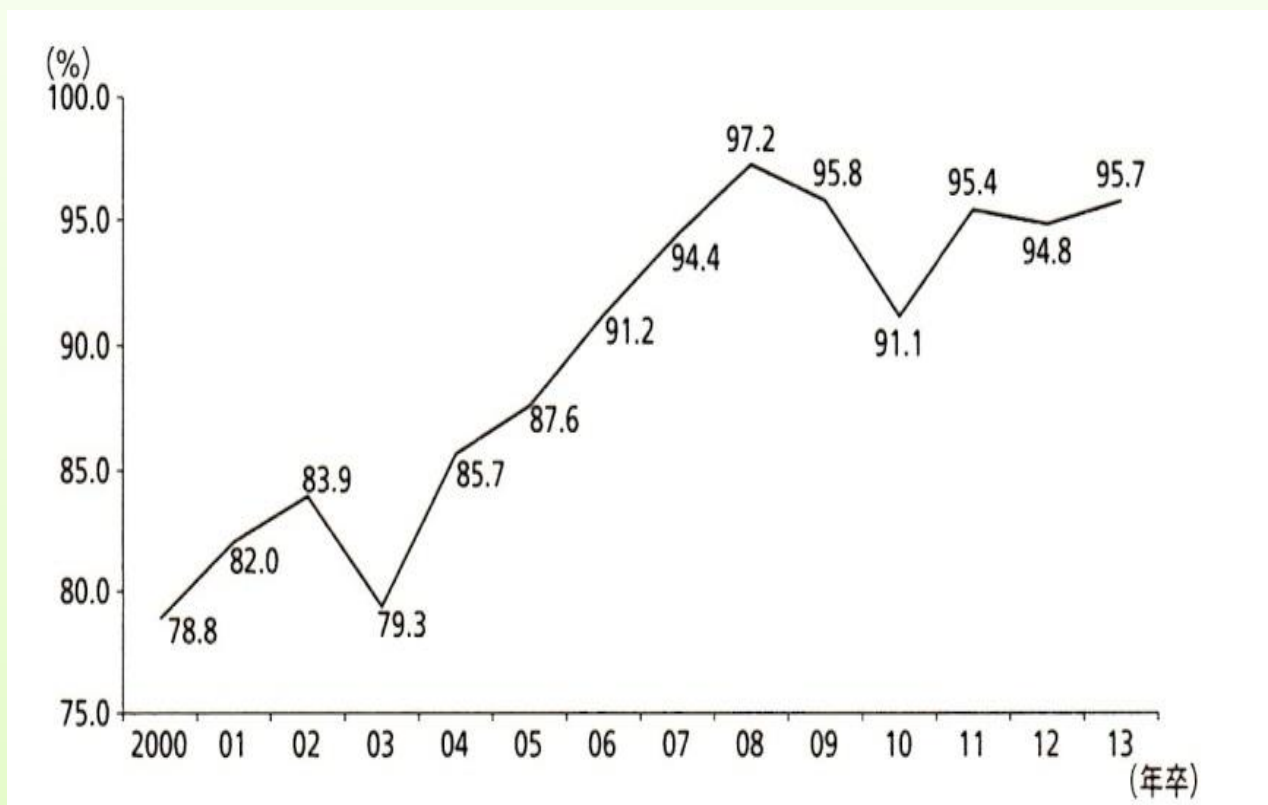
そのような仕事の人生を考えます。

各回講義の項目・内容

第8回：就職から退職まで 2)



一括採用実施企業割合の推移



『「就活」と日本社会』p75より、出所：日本経済団体連合会(2014)

各回講義の項目・内容



第8回：就職から退職まで 3)

職場生活について

職場生活・就業規則・賃金・労働時間・休憩・
休日・時間外・休暇

人事異動・懲戒・処分・退職・解雇、臨時雇い
上司と部下：指揮命令

労働移動・転勤、定年制について、金銭解雇
労働の供給と需要、失業を考える
リストラ、完全雇用とは

各回講義の項目・内容



第8回：就職から退職まで 4)

採用から退職まで：

法律・場面：採用・試用期間・契約、
職業紹介制度

新卒採用・中途採用について

新卒就職活動：解禁変更：新卒一括採用、
就職留年：内定・内々定

各回講義の項目・内容



第9回：キャリアを考える 1)

企業に雇われて働くということは、自ら持つ能力・技術を買われて、その期待にこたえるように成果を出すことでもあります。

仕事をする中で蓄えた経験や技能は、仕事をするうえで最も大切な能力です。科学技術の発展によって働き方が変わり、変化していくのかを考えます。

各回講義の項目・内容

第9回：キャリアを考える 2)

学生のインターンシップ



各回講義の項目・内容



第9回：キャリアを考える 2)

キャリアデザインとは
教育と労働・賃金・地位
企業訪問・企業研修：インターンシップ
技術者・職人、資格制度：仕事給
単純労働と複雑労働
勤労意欲・テーラーシステム
OJT：仕事を覚えるには
コンピュータ・IT化と雇用・労働、OA化・ME化
ソフトウェア労働、IT化と雇用の未来
転職、求人

各回講義の項目・内容

第10回：性別分業：女性労働と外国人労働等 について 1)



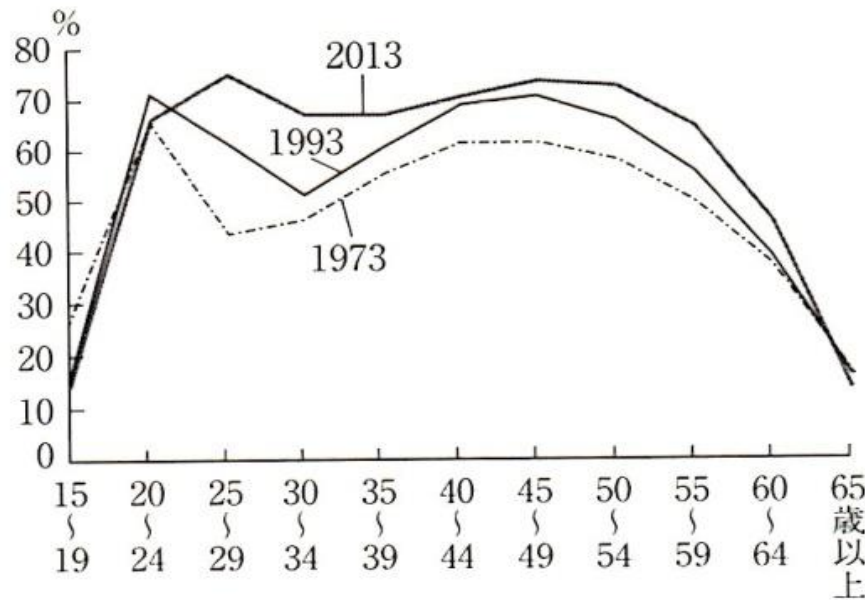
性別分業はこれまでの日本の社会の中で根強く残っている慣習です。

女性が雇われて働くことが多くなった現代では、女性労働の問題はとても重要な事項です。

男女雇用均等と言われながらも、大きな差別と壁があることは確かです。また、外国人労働者の問題も考えます。

各回講義の項目・内容

第10回：性別分業：女性労働と外国人労働等 について 2)



(注) 1968年は沖縄県分を含んでいない。
(出所) 総務省「労働力調査」時系列データより作成。

図 3-5 女性の年齢別労働力率の変化

各回講義の項目・内容

第10回：性別分業：女性労働と外国人労働等 について 3)

女性の社会参加と雇用：男女雇用均等について
セクハラ、母子家庭と貧困、シングルマザー

女性管理職の比率：国家公務員

育児休業制度：短時間勤務と子育て

介護休業制度

外国人雇用について：

外国人労働者の増加、外国人実習生

外国人家事代行、留学生の雇用

外国人の不法就労



各回講義の項目・内容



第11回:労働者を守る制度について 1)

雇う企業と雇われる労働者は雇用契約上では対等な立場にいます。

しかしながら、実際には企業の側が有利な立場にいます。

様々な労働者を守る制度が築かれてきました。

それらを知ることは働く人々にとって、

とても重要な知識であり、

あらかじめ知ることによって自らを助ける糧になります。

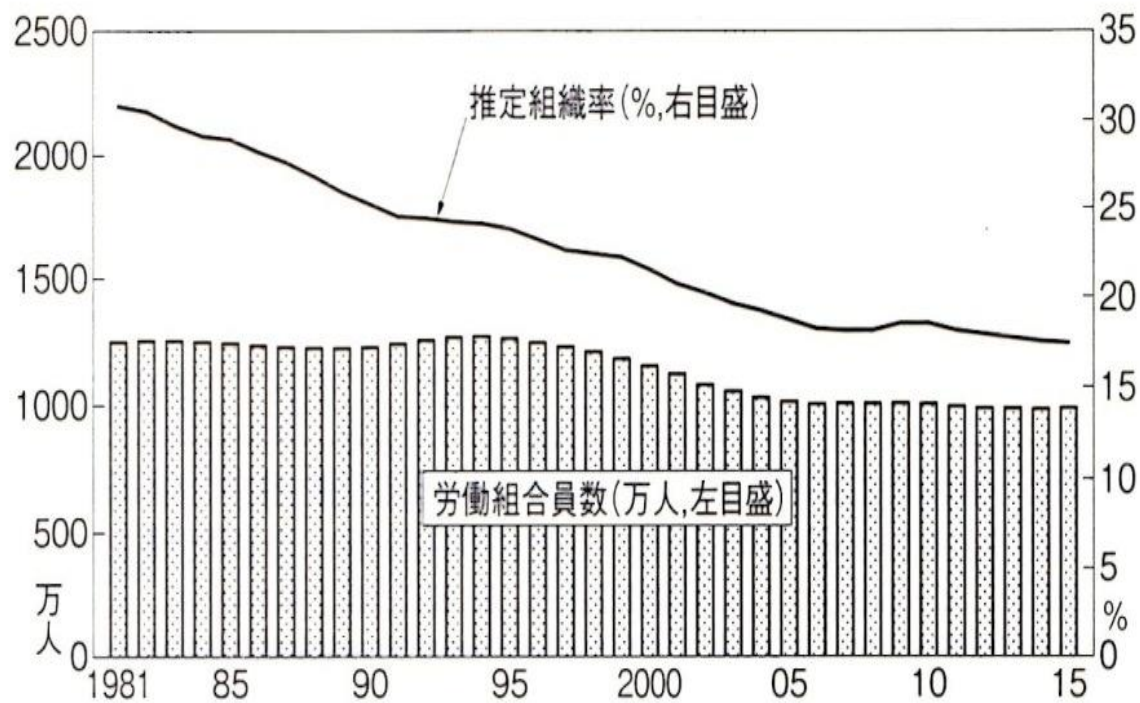
そのような問題を考えます。

各回講義の項目・内容

第11回：労働者を守る制度について 2)



図 5-19 労働組合員数と推定組織率



資料・注記は表5-15に同じ。2011年の推定組織率は補完推計で算出された値。

各回講義の項目・内容



第11回:労働者を守る制度について 3)

労働者の団結:

産業別組合・企業別組合

公務員と組合:特別職と一般職

労使関係、春闘:賃金交渉、不当労働行為

新たな労働運動:若者のコミュニティユニオン

パートタイムの組合員化

労働相談、健康・安全:産業医

職場のストレス、パワーハラスメント・セクハラ、
社会保険労務士とうつ病

各回講義の項目・内容



第11回:労働者を守る制度について 4)

労働者の権利、内部告発、年次有給休暇

労働審判

労働CSRと国際基準

労働者を守る保険制度について:

労働保険・雇用保険・労災保険

労災と社会保障

厚生年金と国民年金、健康保険:加入逃れ

各回講義の項目・内容

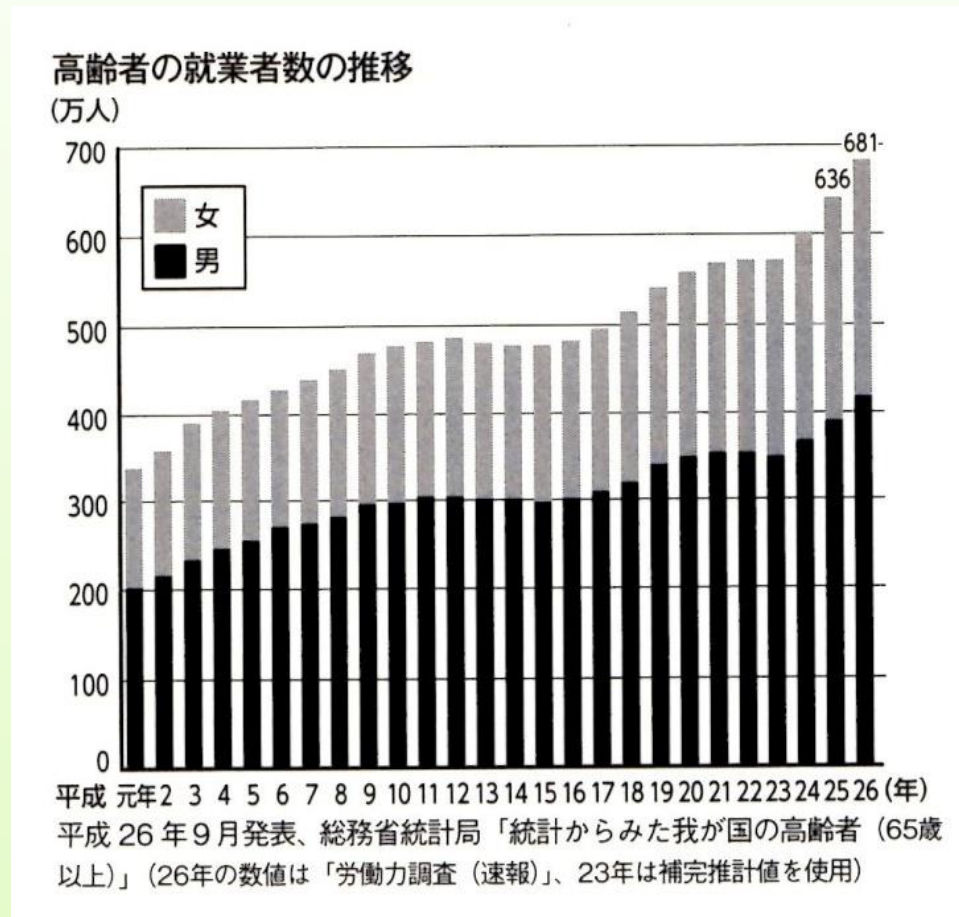
第12回:さまざまな働き方・新たな働き方 1)

高齢化社会を迎え、高齢者雇用や介護労働、さらに障害者雇用を取り上げます。
また、公務労働やNPO・NGOで労働、さらに地方での働き方・起業、労働移動、ワークシェアリング、ベーシックインカムも考えます。



各回講義の項目・内容

第12回:さまざまな働き方・新たな働き方 2)



各回講義の項目・内容

第12回:さまざまな働き方・新たな働き方 3)

高齢者の雇用を考える:

高齢化社会とシニア雇用、シルバー人材
福祉労働者問題、障害者雇用の問題

介護労働、保育労働

在宅勤務、兼業

公務労働:

公企業と私企業の雇用

公務労働の非正規化



各回講義の項目・内容

第12回:さまざまな働き方・新たな働き方 3)

NPO・NGOでの働き方

労働者協同組合、労働者の株式保有
家族と雇用、地域と仕事、仕事おこし

労働移動:都市化、地方のシャッター街、

地方への移住:かつての出稼ぎ

起業と就職、子育てと就労

ワークシェアリング

ベーシックインカム(最低生活保障)



各回講義の項目・内容



第13回：雇用の流動化と労働規制緩和政策 1)

多くの先進諸国はこれまでの労働規制を緩和しようとする政策が近年とられてきています。日本も例外ではなく、労働者の働き方を守る様々な政策や規制を「岩盤規制」と呼んで掘り崩されようとしています。働き方改革はどこから来てどこに行くのか、そして、よりよく働くためには何が必要なのかも考えます。

各回講義の項目・内容



第13回：雇用の流動化と労働規制緩和政策 2)

政府が議論する働き方改革の9項目

- 1 非正規雇用の処遇改善（同一労働同一賃金）
- 2 賃金引き上げ
- 3 長時間労働の是正
- 4 転職・再就職支援、職業訓練
- 5 テレワークや副業・兼業など柔軟な働き方
- 6 女性・若者が活躍しやすい環境
- 7 高齢者の就業促進
- 8 病気の治療、子育てや介護と仕事の両立
- 9 外国人材の受け入れの問題

2016-09-27 09:00
「業種の限定を」
経団連会長
経団連の榊原定征会長は26日の記者会見で、残業時間に厳格な上限を設ける政府方針に関して「一律で決めると経済実態に大きな影響が出てくる」と述べ、対象となる業種を絞り込むべきだとの考えを強調した。決算時期など一時的に多忙になる場合への配慮も必要と指摘。長時間労働の是正は「労働者の保護と業務の継続性の両面から検討する必要がある」と注文をつけた。

日経新聞 2016-09-27

各回講義の項目・内容



第13回：雇用の流動化と労働規制緩和政策 3)

同床異夢の 政労使

安倍晋三首相

働く人の立場に
立った改革を進める

生産性を改善するため
の最良の手段と信じる

実現会議での議論を
どう法律に落とし込む
かは厚労省の審議会
でやるのが基本。会議
との区分けはしっかり
することが必要だ

一律に月何時間という
形で残業時間の上限
を決めると、実体経済
に大きな影響が出る。
実態をふまえた議論を
すべきだ



神津里季生・
連合会長



榊原定征・
経団連会長

朝日新聞 2016-09-28

各回講義の項目・内容



第13回：雇用の流動化と労働規制緩和政策 4)

規制緩和政策：働き方改革

雇用の流動化・弾力化、雇用の多様化

「正社員」の崩壊と非正規化

解雇規制のゆくえ、金銭解雇

同一労働同一賃金、労働審判、労働CSR

企業のグローバル化と労働、ILO

貧困化問題、最低賃金政策

雇用と経済のグローバル化

子供の貧困

各回講義の項目・内容



第14回:まとめ1:日本的雇用慣行と非正規化

「まとめ」として、主に、

第3回:日本的雇用慣行と企業中心社会

第4回:雇用の多様化と正規・非正規雇用
を中心に上げます

第15回:まとめ2:働きすぎと性別分業

「まとめ」として、主に、

第7回:労働時間と働きすぎについて考える

第10回:性別分業:女性労働について
を中心に上げます

参考書籍の紹介 1)

森岡孝二『雇用身分社会』岩波新書

森岡孝二編『貧困社会ニッポンの断層』桜井書店

ロナルド・ドーア『働くということーグローバル化
と労働の新しい意味』中公新書

濱口桂一郎『新しい労働社会ー雇用システムの
再構築へ』岩波新書

森岡孝二『就職とは何かー〈まともな働き方〉の
条件』岩波新書



参考書籍の紹介 2)

竹信三恵子『ルポ雇用劣化不況』岩波新書

伍賀一道『「非正規大国」日本の雇用と労働』新日本出版社

今野晴貴『ブラック企業－日本を食いつぶす妖怪』文春新書

森岡孝二編『格差社会の構造－グローバル資本主義の断層』桜井書店

森岡孝二編著『現代日本の企業と社会－人権ルールの確立をめざして』法律文化社

今野晴貴『ブラックバイト－学生があぶない』岩波新書

森岡孝二『働きすぎの時代』岩波新書

アンケートのお願い

- ・講義で取り上げてほしい項目・内容があれば、アンケート用紙に書いてください
 - ・質問事項・疑問点・ご要望があればそれも書いてください
- ※できるだけご要望に応えようと思います

本日はここまでです
ありがとうございました

